



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第18回例会(11月8日)  
平成25年11月15日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
FAX(653)5622  
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 平井 滋  
幹 事 平野 佳則  
会 報 金子 真也  
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. "ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を"…… Ron D. Burton

## 新入会員卓話



### 「国際収支統計の話」

日本銀行盛岡事務所 事務所長  
篠原 壽成 君

本日は、「国際収支統計の話」と題してお話し致します。

なお、「本卓話での意見や解釈にあたる部分は、全て私の個人的なものであり、私が属する組織の見解ではないこと」を申し添えておきます。

まず、国際収支統計とは、一定期間におけるあらゆる対外取引を体系的に記録した統計です。国際収支統計は、①経常収支、②資本収支、③外貨準備増減、に分類出来ます。

国際収支統計で重要な点の一つは、世界各国が共通の方式で記載していることです。その方式は国際通貨基金（IMF）が「国際収支マニュアル」として提示しています。現行マニュアルは、第5版です。新しいマニュアル（第6版）は、既に公表されており、日本では、新マニュアルに沿った統計を2014年1月分から公表することになっています。

国際収支統計の計上方法ですが、複式計上に基づいています。この結果、国際収支統計では、「経常収支+資本収支+外貨準備増減=0」という等式が成り立っています。これも国際収支統計の特徴の一つです。

実際の2011年の国際収支統計の動きですが、2011年の貿易収支は、(-)1.6兆円の赤字になっています。東日本大震災の影響もあって輸出が減少する一方、鉾物性燃料を中心に輸入が増加しました。赤字は、1963年以来48年振りでした。サービス収支ですが、赤字が続いてい

ます。旅行収支は、サービス収支の大きな項目の一つです。一方、所得収支ですが、大幅な黒字で推移しています。経常収支全体としては、貿易収支とサービス収支の赤字を所得収支の黒字が補い、黒字となっています。

経常収支とその内訳を少し長期に亘り辿ってみると、経常収支の黒字は、2007年以降下方トレンドになっています。また、貿易収支は、2011年、2012年と赤字になり、赤字幅も拡大しています。所得収支の黒字は、傾向的に拡大しています。つまり、2011、12年の2年間は、貿易収支とサービス収支の赤字を所得収支の黒字が補うことで経常黒字が維持されています。

一つ注意喚起したいのは、貿易収支がこのまま赤字となるか否かは、まだ良く分からないということです。暫くの間、よく観察して行く必要があります。

事実として言えるのは、日本は、対外的には、輸出を主体に稼ぐ体質から、海外生産や海外投資による収益でも稼ぐ体質に変わって来ていることです。

所得収支とは、日本の対外債権、債務から得られる収支を意味します。その規模は、2012年では14兆円程度です。日本は、対外資産負債残高が公表されている主要国の中で、最大の純資産を保有しているものと思われます。

統計から得られるこの他のインプリケーションとして、本日は、旅行収支と直接投資について述べたいと思います。

先ず、旅行収支ですが、一貫して赤字です。日本の素晴らしい観光資源を考えると「もう少し収支がバランスしても良いのでは?」という気もします。この点に関しては、本年6月に閣議決定された『日本再興戦略-Japan is Back-』でも訪日外国人旅行者数の目標として「本年に訪日外国人旅行者数1,000万人を達成し、さらに2,000万人の高みを目指す」等としています。

次に、直接投資ですが、対外直接投資は、毎年高い伸びを示しています。一方、対内直接投資は、2010年以降低迷しています。この収支も「もう少しバランスしても良いのではないか?」と思います。『日本再興戦略-Japan is Back-』でも対内直接投資の活性化が謳われています。

以上、本日の卓話の要点を纏めます。

(1)日本の経常収支は、貿易収支の黒字をベースにするものから対外純資産により稼ぐ姿に変わって来ていること。

(2)個別収支のバランスという観点でみると、訪日外国人の増加や対内直接投資の増加により、世界の経済成長を取り込んで行く余地があること。

特に、上記(2)について、岩手県の状況に引き付けて考えてみますと、当県は観光資源が豊富ですので、上手に売り込んで行けば、訪日外国人の増加にも寄与し得る余地があると思います。この点、県や関係者の方々が非常に努力していると聞いております。

また、長期的な話ではありますが、ILCの誘致も実現出来れば、その効果は、対内直接投資の促進という意味でも大きいものがあると思います。優秀な人材や優れた技術の流入により、岩手県がR&D(研究開発)の一大拠点になる可能性も否定出来ません。非常に夢のある話であると思います。

以上、簡単にご説明申し上げました。有難うございました。

例 会 報 告

第18回例会  
平成25年11月8日(金)

於 川徳 12時30分 開会点鐘  
・司 会 平井 滋会長  
・ソング 我らの生業

- ・会長報告 平井 滋会長
- ・誕生祝 勝部民男・長野隆行・谷藤和彦・中山哲克君。
- ・幹事報告 平野佳則幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡東R.C.=11月18日(月)は通常夜例会18:30~「すべいん倶楽部」

会場変更。

●メイクアップ

盛岡北R.C.=熊谷(祐)・若松君。  
盛岡西R.C.=福田・川村(登)・吉田(育)君。盛岡南R.C.=金子・吉田(幸)君。盛岡東R.C.=吉江君。盛岡滝ノ沢R.C.=高柳君。クラブ委員会=藤村(文)君。

出席報告

会員数 /68 名

出席数 /38 名

出席率 /61.29%

前々回修正出席率 /71.67%

プログラムの  
お知らせ

- ・11月15日(金) ゲスト卓話 三浦陽一様(盛岡市都市整備部 公園みどり課 文化財主査)「桜山参道地区の歴史」
- 22日(金) 会員卓話 平井 滋会員「見上げてごらん夜の星を」
- 29日(金) 会員卓話 坂本広行会員「伊勢神宮・式年遷宮・遷御の儀に参列して」
- ・12月 6日(金) 新入会員卓話 藤村吉隆会員
- 13日(金) 年次総会
- 20日(金) 年忘れ家族会
- 27日(金) 特別休会

●本号編集担当 / 金子 真也

●次号編集担当 / 大見山俊雄